

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	AIAI NURSERY要町
施設所在地	東京都豊島区要町1丁目8-11 要
法人名	AIAI Child Care株式会社

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

光と影

<テーマの設定理由>

子どもたちが戸外活動にて影に興味を示している姿があり、影ってどうしてできるんだらうという声を拾って探究活動のテーマとした。

## 2. 活動スケジュール

1月～「影ってなに？」～影遊びから影のできる不思議さを感じよう  
2月～「影っていろいろなところにある？」～影を探して写真を取ってみよう  
3月～写真展示会

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

大きなスクリーン、投光器、積み木、キッズカメラ、写真フレーム、デジタルフォトフレーム等を用意し、一つのお部屋を影絵遊びができるようにするなど、子どもたちが自ら光と影を感じ、探究できるように用意した。

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

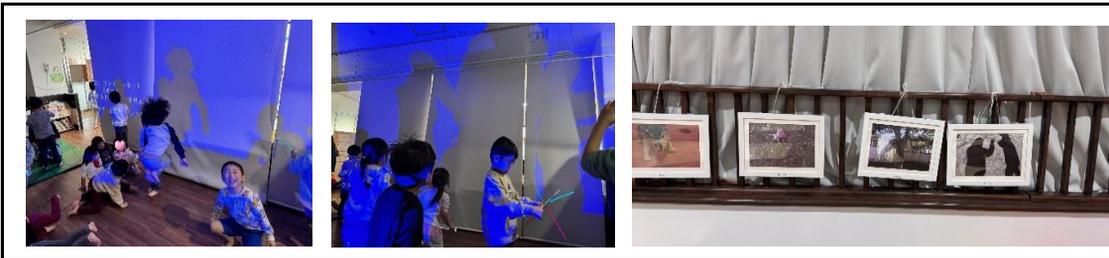
1月～「影ってなに？」～投光器やスクリーン、積み木などを用意して自由に影絵遊びを楽しみながら、光と影の関係性を知る。

2月～「影っていろいろなところにある？」～戸外活動や室内で影を探し、キッズカメラで写真を取り、影について対話を深める。

3月～撮った写真を室内に飾り、写真展示会を開催する。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

大きなスクリーンに光を映し出すと、子どもたちは光の前に立ち、最初は自由に動き回っている姿が多かったが、しばらく保育者は見守るようにしていった。少しずつ影を不思議そうに見る姿が増え「僕の身体は光っているのに、影は黒いのはどうして？」「こうしたらこんな形になる、大きさが変わる」など子どもたち同士で、光と影の関係性などに気づきながら、形を作りはじめ、影絵遊びが発展しはじめた。そこから、影探しが始まり、キッズカメラをもって写真を取り始めると「影って太陽の光がないとできないの？」「影って少し怖い」「影の形って面白い」など光の具合などによって影の形が変化することに不思議さなどを感じながら、探究する姿が見られた。



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

影絵遊びは始めは無秩序であり、保育者がこうして遊ぶといいんだよ。と伝えたい部分があったが、少しの間見守っていると子どもたち自身で不思議さを感じ、考え、自然と影絵遊びが始まったこと。また、子どもたちがキッズカメラを持ち写真を撮るときも、初めはカメラで写真を撮るところに意識がいていたが、子どもたちが自らの視点を持ち、だんだんいろいろな影を撮り始め、私たちにない視点で写真を撮り始めた。対話を通してでもあったが、改めて、「子どもたちが自ら気づき、遊ぶ姿。その時に、意図を持って見守る、待つ姿勢を保育者が持つことの大切さ」を改めて気づかされた。